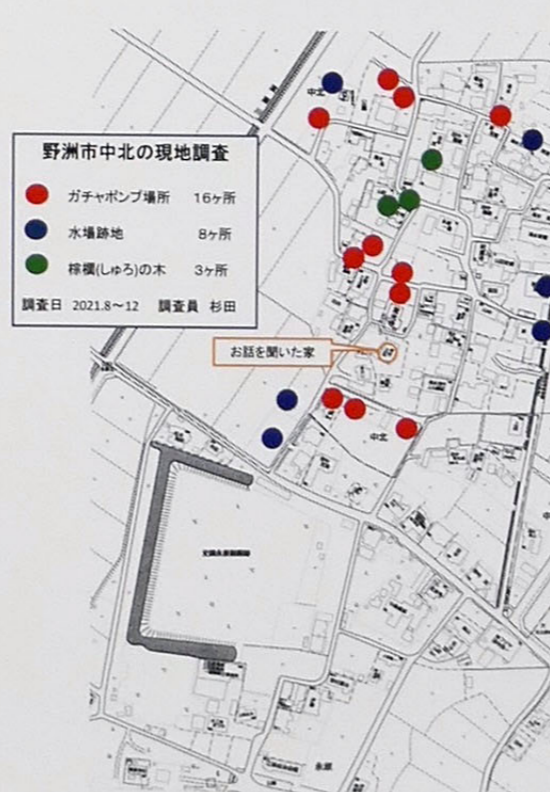
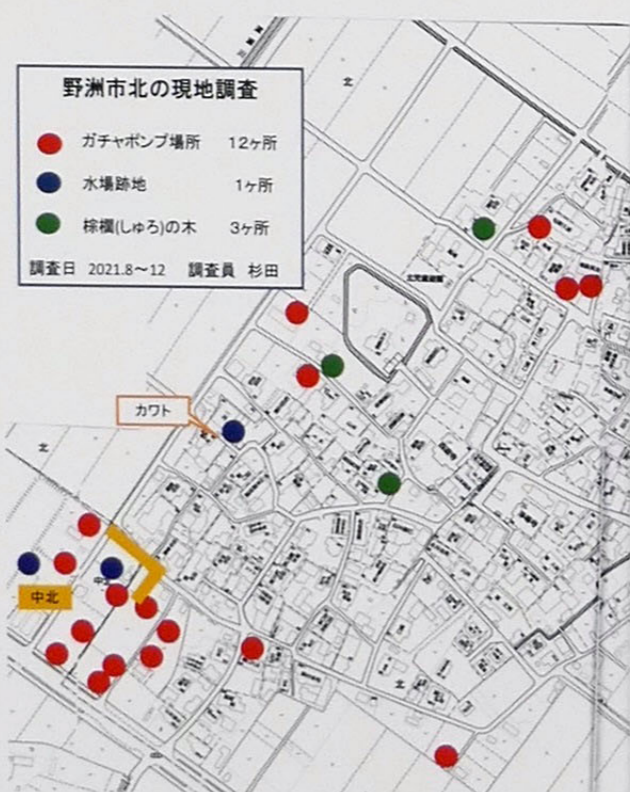


水と暮らし研究会

- 祇王井川とガチャポンプ -

野洲市内を流れる祇王井川(ぎおういがわ)は、農業用水に困っていた旧江辺荘(えべのしょう)に地域出身の妓王が時の権力者平清盛に願い出て、野洲川を水源にして造られた人工河川です。

この流域には、現在も野洲市北・中北地域の畑地に灌漑用・散水用に使われた28台のガチャポンプが残っています。



野洲市北・中北地域のガチャポンプ確認場所と水場跡 棕櫚(しゅろ)の木 現地地図

2022年(令和4年)8月26日 金曜日

フィールドへ びわ博いちおし

⑩身近な水の調査

琵琶湖博物館の屋外には、自然と関わる暮らし体験ができる「生活体験工房」があります。その一角には、井戸のある暮らしを再現した展示もしています。水道の水を利用するようになったら、生活用水を取り巻く水環境は大きく変わりましたが、琵琶湖の周りでも、水道水以外の水と密接にかかわっている地域があります。

例えば、「ガチャポン」と呼ばれる地下水を汲み上げるものがあり、今も地下水が利用されています。野洲市東部地域では、畑の中に多くのガチャポンが残るお家のほか、「昔、夏は学校で、今回フィールド調査を行った

地下水、水場 生活の中に

され、地下水が畑用水、風呂用の水や庭の散水にも使われています。ガチャポンを使い続けているお家のほか、「昔、夏は学校で、今回フィールド調査を行った

地下水を汲み上げるガチャポン。現在も共同利用の水場かなほつ(野洲市)に住居(水場跡)。

「琵琶湖博物館」の屋外には、自然と関わる暮らし体験ができる「生活体験工房」があります。その一角には、井戸のある暮らしを再現した展示もしています。水道の水を利用するようになったら、生活用水を取り巻く水環境は大きく変わりましたが、琵琶湖の周りでも、水道水以外の水と密接にかかわっている地域があります。

例えば、「ガチャポン」と呼ばれる地下水を汲み上げるものがあり、今も地下水が利用されています。野洲市東部地域では、畑の中に多くのガチャポンが残るお家のほか、「昔、夏は学校で、今回フィールド調査を行った

今回フィールド調査を行った

2022年8月26日 京都新聞記事

野洲市街を流れる祇王井川



「祇王井川」は、地域出身の妓王が水に困る地域農民の声を平清盛に伝えて造られた人工河川です。下は妓王を祭る妓王寺の山門。

